

類字名和歌集

四

津田文庫

文庫 1

1627

4



數字の和歌集

一代集抜書

羅行



つだ文庫

010190607572

梅津河

山城

拾遺雜下  
金葉連哥

名のそとに梅津河をたづねて  
もくもくもれ花をよそよそに  
じつは梅をらりやまぬん  
同 愛宕郡 賢朝臣

紫野

同 愛宕郡

赤融院乃 延喜をてひて  
まらた一とせこのふりて  
あひひのそくをんはひ

後拾遺嘉徳 紫野のまらたをてひて  
同神祇 白妙のまらたをてひて  
赤融院乃 延喜をてひて

後古今春上 子日志をてひて  
同秋下 梅宮

梅宮

同

平兼盛  
太上天皇

新後拾遺歌四  
ふ今たを梅のま控めつり  
かたのさも依権僧都慶

六田

千載恋五

是とみよ六田の津よとてくく高直し六田の津夜久

新古今春

多せよ六田なるく此柳京こころをぬくふむいそ外權中納言

新勅撰夏

六田の津乃川折れ舟守波や津の志るゆと

後拾遺春

さくく安水か少くは同く六田の津よとてくく高直し六田の津夜久

風雅春十

舟はあつりゆとをとらにありゆきり六田の津乃川折れ舟守波

新拾遺夏

とくは六田の津なるく若殿乃六田の津乃川折れ舟守波

武庫

津

後津 武庫郡

後拾遺雜

住者のえとよまてわくもをいじれ浦なる出る舟人

同様

後ゆりくわくををききつりくかかをいじれ浦なる出る舟人

玉葉雜二

久はくひやこのと浦と漕舟のくわふ引やいれ浦風

同

いこの浦乃内成りつりてする雲の舟波ふるりり

風雅雜中

漕つていこの浦なりは後をは波ふるりり舟若の松

新千載雜一

はかのいれわくあるあつてまもりてすををいれ

古今恋五

後ゆりくわくををききつりくかかをいじれ浦なる出る舟人

同雜上

いこの浦乃内成りつりてする雲の舟波ふるりり

後撰秋中

女帯花白へ白萩の武苑野といつたりも花は引くも

同雜

武苑野の袖ひりゆくかきつりてする雲の舟波ふるりり

拾遺物名

武苑野の袖ひりゆくかきつりてする雲の舟波ふるりり

千載大教

武苑野の袖ひりゆくかきつりてする雲の舟波ふるりり

新古今秋

武苑野の袖ひりゆくかきつりてする雲の舟波ふるりり

同

武苑野の袖ひりゆくかきつりてする雲の舟波ふるりり

新撰撰秋上

武苑野の袖ひりゆくかきつりてする雲の舟波ふるりり

同恋三

武苑野の袖ひりゆくかきつりてする雲の舟波ふるりり

同恋四

武苑野の袖ひりゆくかきつりてする雲の舟波ふるりり

同

武苑野の袖ひりゆくかきつりてする雲の舟波ふるりり

新勅撰雜

武苑野の袖ひりゆくかきつりてする雲の舟波ふるりり

同雜

武苑野の袖ひりゆくかきつりてする雲の舟波ふるりり

後拾遺恋三

武苑野の袖ひりゆくかきつりてする雲の舟波ふるりり



同

同

新撰古今書

同旅

同

同

向雲

武蔵

新勅撰雜

後古今雜上

玉葉秋下

同秋下

席田

羨濃

新勅撰賀

同雜五物

後後拾遺冬

新拾遺賀

新後古今賀

結神

同

拾遺雜恋

詞花恋上

室八鴻

下野

同恋一

十載春上

同夏

同恋二

同雜上

新古今春上

同恋三

新勅撰恋三

後後撰恋三

同旅

宗々法師

有原長秀

定家

源頼朝

後人不知

前大納言

小所

知家

後系合道前

園自太政大臣

定家

太宰大貳重

二條大皇太子

大納言成道

後京極

源師光

後小松院

後人不知

能因法師

後原守方

源後頼朝臣

源行頼朝臣

後成

右原守方

有原清輔朝臣

藤原惟成

定家

前冬議忠

定家

定家

定家

同返

後古今冬

同恋二

同恋三

同

後拾遺様

新抄撰具

同恋二

後千載秋上

後拾遺送恋二

同口教

新拾遺様

新拾遺様

恋の煙をたぐひては煙をたぐはるる

蓮生法師

さうふとさひあうとあつらふん家の八嶋はうとまのそ

右原信実朝

ととほもや家の八嶋はうと煙のひまも今まのま

後人不知

りちりし恋の煙をたぐはるる家の八嶋はうとまを御らん

俊成 女

あふす恋家の八嶋はうとまを御らん

寂蓮法師

煙をたぐはるる家の八嶋はうとまを御らん

右原親朝

と乃ほの煙もやまのまを御らん

從三位家隆

煙をたぐはるる家の八嶋はうとまを御らん

前議雅有

あつらふん家の八嶋はうとまを御らん

右原宗秀

人とのあつらふん家の八嶋はうとまを御らん

源重之女

煙をたぐはるる家の八嶋はうとまを御らん

前中納言房

たもたふん家の八嶋はうとまを御らん

法下守邊

恋の煙をたぐはるる家の八嶋はうとまを御らん

情磨

あつらふん家の八嶋はうとまを御らん

大江茂重

あつらふん家の八嶋はうとまを御らん

倫前

あつらふん家の八嶋はうとまを御らん

平忠

あつらふん家の八嶋はうとまを御らん

小町

あつらふん家の八嶋はうとまを御らん

紀伊

あつらふん家の八嶋はうとまを御らん

八木

あつらふん家の八嶋はうとまを御らん

上佐

あつらふん家の八嶋はうとまを御らん

山藏

あつらふん家の八嶋はうとまを御らん

弘法大師

あつらふん家の八嶋はうとまを御らん

同

あつらふん家の八嶋はうとまを御らん

同

あつらふん家の八嶋はうとまを御らん

同

あつらふん家の八嶋はうとまを御らん

同

あつらふん家の八嶋はうとまを御らん

同

あつらふん家の八嶋はうとまを御らん

同

あつらふん家の八嶋はうとまを御らん

同

あつらふん家の八嶋はうとまを御らん

同

あつらふん家の八嶋はうとまを御らん

同

あつらふん家の八嶋はうとまを御らん

同

あつらふん家の八嶋はうとまを御らん

同

あつらふん家の八嶋はうとまを御らん

同

あつらふん家の八嶋はうとまを御らん

同

同恋二

同恋三

同

同

同

同

新抄撰具

同

同雜二

拾遺卷三

後拾遺冬

金葉秋

同卷下

くちのりはみみ世... 我も網代はうらぬ... 忠平

金葉雜

詞花雜下

千載冬

同賀

同恋三

新古今春

同夏

新古今秋

同夏

同

同賀

同

同雜中

同

新勅撰春

同冬

同族

同

後後撰夏

同秋下

後古今春

同

同秋下

くちのりはみみ世... 我も網代はうらぬ... 忠平

同冬

後拾遺秋上

同秋下

同

同冬

同

新撰撰春上

同尺教

玉葉琴

同

同

同

同

同冬

同雜三

同尺教

同

後千載秋下

同

同冬

同

同尺教

同雜上

同雜中

後拾遺秋上

同

同秋下

同冬

同雜上

おきあつる山をわさしたるもろく河をくわらうちの川波  
伏見山を藤原の意に築きおろすとらうらむとゆらうちの川を

けりきり敷きよるるをの橋のたもとをきりぬる心をも

橋のつらさぬ袖とよやむらひのたもとをきりぬる心をも

橋のたもとをきりぬる心をもきりぬる心をも

同わらうちの川波とゆらむとらうちの心をも

きりぬる心をもきりぬる心をも

ゆらむとらうちの川波とゆらむとらうちの川波

ゆらむとらうちの川波とゆらむとらうちの川波

ゆらむとらうちの川波とゆらむとらうちの川波

ゆらむとらうちの川波とゆらむとらうちの川波

ゆらむとらうちの川波とゆらむとらうちの川波

ゆらむとらうちの川波とゆらむとらうちの川波

ゆらむとらうちの川波とゆらむとらうちの川波

ゆらむとらうちの川波とゆらむとらうちの川波

ゆらむとらうちの川波とゆらむとらうちの川波

ゆらむとらうちの川波とゆらむとらうちの川波

ゆらむとらうちの川波とゆらむとらうちの川波

ゆらむとらうちの川波とゆらむとらうちの川波

ゆらむとらうちの川波とゆらむとらうちの川波

ゆらむとらうちの川波とゆらむとらうちの川波

ゆらむとらうちの川波とゆらむとらうちの川波

ゆらむとらうちの川波とゆらむとらうちの川波

ゆらむとらうちの川波とゆらむとらうちの川波

ゆらむとらうちの川波とゆらむとらうちの川波

ゆらむとらうちの川波とゆらむとらうちの川波

ゆらむとらうちの川波とゆらむとらうちの川波

ゆらむとらうちの川波とゆらむとらうちの川波

ゆらむとらうちの川波とゆらむとらうちの川波

西園寺公南  
不政大臣

常陸守入道  
前太政大臣

信実朝臣

太宰権師  
為

平内院  
為

冷泉太政大臣

太上天皇

志鏡推經

法中兼基

土佐内大臣

冷泉前太政大臣

前太政大臣  
為

惟明親王

大納言隆國

前太政大臣

法眼慶融

法成寺入道  
後太政大臣

津守國助

石原弘盛

後三條院

高家

定家

万秋門院

前太政大臣

入道三品法親

王道助

永福門院

常陸守入道  
前太政大臣

後成  
為家



同春中

うらほらうらの海はれあききい海もほらねと成ゆ 前大納言兼

同秋中

さるもつるさるのさかあうらわてねあきくさほの川波 右原直秀朝臣

同秋下

知日まきさきくさくさくさくさくさくさくさくさくさくさくさく 権大納言賢明

同

しんじんしんじんのかさかかかかかかかかかかかかかかかかか 前大僧正超

同冬

去去のさうらうらあきのねいさあきさあきさあきさあきさあき 吟泉前太政大臣

同

風さゆらゆらの網代あきあきあきあきあきあきあきあきあき 前大納言為世

新撰載秋下

くさあきのあきあきあきあきあきあきあきあきあきあきあき 祝部成賢

同冬

橋ねのさるや錦いみゆらねあきあきあきあきあきあきあきあき 橋本直房

同

海風のさるやあきあきあきあきあきあきあきあきあきあきあき 淡人不知

同

くさあきのあきあきあきあきあきあきあきあきあきあきあき 右原直秀後

同

長あきあきあきあきあきあきあきあきあきあきあきあきあき 前大僧正覺

新撰春上

りあきのあきあきあきあきあきあきあきあきあきあきあき 俊成女

同春下

あきあきあきあきあきあきあきあきあきあきあきあきあき 西園寺入道

同夏

あきあきあきあきあきあきあきあきあきあきあきあきあき 右原信実朝臣

同

あきあきあきあきあきあきあきあきあきあきあきあきあき 後照念院朝臣

新撰春上

あきあきあきあきあきあきあきあきあきあきあきあきあき 源頼康

同

あきあきあきあきあきあきあきあきあきあきあきあきあき 從二位家隆

同夏

あきあきあきあきあきあきあきあきあきあきあきあきあき 常盤井入道

同

あきあきあきあきあきあきあきあきあきあきあきあきあき 前太政大臣

同秋

あきあきあきあきあきあきあきあきあきあきあきあきあき 似阿法師

同秋

あきあきあきあきあきあきあきあきあきあきあきあきあき 淡人不知

同冬

あきあきあきあきあきあきあきあきあきあきあきあきあき 前大納言為

同

あきあきあきあきあきあきあきあきあきあきあきあきあき 合道贈昌親

同

あきあきあきあきあきあきあきあきあきあきあきあきあき 惟明親王

同秋

あきあきあきあきあきあきあきあきあきあきあきあきあき 前因白近牛

同恋

あきあきあきあきあきあきあきあきあきあきあきあきあき 津守国重

同

あきあきあきあきあきあきあきあきあきあきあきあきあき 永福門院侍

新撰春上

あきあきあきあきあきあきあきあきあきあきあきあきあき 從二位家隆

同夏

あきあきあきあきあきあきあきあきあきあきあきあきあき 前大僧正

同秋

あきあきあきあきあきあきあきあきあきあきあきあきあき 前大納言

同秋下

あきあきあきあきあきあきあきあきあきあきあきあきあき 正任隆教

同種

さ遠よりおとろふねてこころいよまらふらんちのよと人 友原雅光

同種中

傍娘乃くそあな夜三ころてまつとをたろころけ川書 生三位兼光

凡生山

山城

かとうらのまのたゆまきともちと兼光ころけ川書 則大僧正 四

新初撰後

初人とうめりよを凡生山まきとちりし唐とちりん 謙徳公

宇多わか室

同 高野郡二

そくたつとこれ凡生山つふきよとちりてあらん 西院 孝康

新撰夏

海よりいよまらふねてこころいよまらふらんちのよと人 入道前 政天

浮田社

同

わんまのたゆまきともちと兼光ころけ川書 藤原 為良

金葉恋上

下草のたゆまきともちと兼光ころけ川書 俊成

後撰夏

くしくと兼光ころけ川書 人丸

後撰春下

まられはは國のたゆまきともちと兼光ころけ川書 從五位 隆

新撰秋下

ゆまのたゆまきともちと兼光ころけ川書 源 兼光

後撰夏

下草のたゆまきともちと兼光ころけ川書 津守 國道

同恋五

んりてまらふねてこころいよまらふらんちのよと人 法眼 行次

新撰夏

あつきのたゆまきともちと兼光ころけ川書 友原 雅朝

新撰今夏

又ねぬまのたゆまきともちと兼光ころけ川書 順徳 院 繁

宇治回山

大和

梅統をかく吉野まはの事の時

後古今様

うち海山は国をく接して衣とまらふらんちのよと人 依保 左大臣

宇治野

同

うちまらふねてこころいよまらふらんちのよと人 法眼 能四

後撰恋六

ふらけいよまらふねてこころいよまらふらんちのよと人 法眼 不知

千載冬

やんちのたゆまきともちと兼光ころけ川書 友原 仲光

後古今冬

くしくと兼光ころけ川書 家隆

後千載夏

あつきのたゆまきともちと兼光ころけ川書 法皇 御製

新撰送冬

うたのやちのたゆまきともちと兼光ころけ川書 春議 雅經

新撰送夏

うたのやちのたゆまきともちと兼光ころけ川書 元可 法師

浦初鳩

楠津下 紀伊 庄 同名

あつきのたゆまきともちと兼光ころけ川書 戒仙 法師

後撰恋三

あつきのたゆまきともちと兼光ころけ川書 戒仙 法師

後撰撰恋三

行てふおひしとさうくあてりてよやいひし浦の初さ戸

從三位額氏

後撰撰春上

みまうい浪流をふぬまきりふりあまを三浦乃初流

常陸守兼直

同秋下

さる浦乃初流あふくまりてあやうし杜のいれね

平清時

玉葉恋一

はのまの浦乃初流あふくまりてあやうし杜のいれね

雅成親王

新撰撰雜上

ゆいそをさるるさるる言ふ沖つ波の浦乃初流

津守国冬

新撰撰恋四

ゆいそをさるるさるる言ふ沖つ波の浦乃初流

定家

新撰撰春上

入らまきりての波あまをひくさるる浦の初流

稱名院道内大臣

有度濱

駿河

後撰撰春上

うと候よあまのいそ言ふてさる初流や今日候あま

能目法師

新撰撰恋一

うと候よあまのいそ言ふてさる初流や今日候あま

淡人不知

新撰撰雜

ゆいそをさるるさるる言ふ沖つ波の浦乃初流

相模

玉葉恋三

あまの浦の初流あふくまりてあやうし杜のいれね

贈從三位

後撰撰

同

後原基政

新撰撰雜

あまの浦の初流あふくまりてあやうし杜のいれね

前奉議

後撰撰秋下

白ゆいそをさるるさるる言ふ沖つ波の浦乃初流

源有長

宇津山

同

業平朝臣

同

あまの浦の初流あふくまりてあやうし杜のいれね

家隆

同

あまの浦の初流あふくまりてあやうし杜のいれね

定家

同

あまの浦の初流あふくまりてあやうし杜のいれね

鴨長明

後撰撰恋四

あまの浦の初流あふくまりてあやうし杜のいれね

定家

後撰撰恋

あまの浦の初流あふくまりてあやうし杜のいれね

兼義雅經

後撰撰雜下

あまの浦の初流あふくまりてあやうし杜のいれね

道生法師

新撰撰恋

あまの浦の初流あふくまりてあやうし杜のいれね

藤原兼重

新撰撰雜

あまの浦の初流あふくまりてあやうし杜のいれね

中務卿

玉葉恋

あまの浦の初流あふくまりてあやうし杜のいれね

俊成

同恋

あまの浦の初流あふくまりてあやうし杜のいれね

前納言

新撰撰恋

あまの浦の初流あふくまりてあやうし杜のいれね

金三郎

新撰撰恋

あまの浦の初流あふくまりてあやうし杜のいれね

法下定田

同

あまの浦の初流あふくまりてあやうし杜のいれね

法下定田

新古今拾遺

里まうていさくさるるの山くあるやま小宿やうまう

亮尋法師

同

明くまし揚ちやんまはさるる山くあるやま小宿やうまう

若菜政宗

同

まのうらまへおのゝとていさくさるるの山くあるやま小宿やうまう

式子内親王

新古今

昔なむむしうらまへおのゝとていさくさるるの山くあるやま小宿やうまう

権納言雅

同

ふらふらおのゝとていさくさるるの山くあるやま小宿やうまう

後京極

同

まのうらまへおのゝとていさくさるるの山くあるやま小宿やうまう

法下宗親

新古今

ももあはれなるさるるの山くあるやま小宿やうまう

藤原頼業

同

お出演

近江

拾遺恋五

まのうらまへおのゝとていさくさるるの山くあるやま小宿やうまう

源人不知

後拾遺上

あかしの海くもさるるの山くあるやま小宿やうまう

源兼氏

新古今

さくらさくらおのゝとていさくさるるの山くあるやま小宿やうまう

大伴黒主

新古今

あかしの海くもさるるの山くあるやま小宿やうまう

後鳥羽院

同

宇田馬

源重光

後拾遺上

あかしの海くもさるるの山くあるやま小宿やうまう

源重光

同

はつ

源重光

新古今

あかしの海くもさるるの山くあるやま小宿やうまう

源重光

同

はつ

源重光

新古今

あかしの海くもさるるの山くあるやま小宿やうまう

源重光

同

はつ

源重光

新古今

あかしの海くもさるるの山くあるやま小宿やうまう

源重光

同

はつ

源重光

新古今

あかしの海くもさるるの山くあるやま小宿やうまう

源重光

同

はつ

源重光

新古今

あかしの海くもさるるの山くあるやま小宿やうまう

源重光

同

はつ

源重光

新古今

あかしの海くもさるるの山くあるやま小宿やうまう

源重光

同

はつ

源重光

新古今

あかしの海くもさるるの山くあるやま小宿やうまう

源重光

同

はつ

源重光

新古今

あかしの海くもさるるの山くあるやま小宿やうまう

源重光

同

はつ

源重光

新古今

あかしの海くもさるるの山くあるやま小宿やうまう

源重光

同

はつ

源重光

千載賀 千夜浦清のみよしゆはもわかやの山をたてむりし 俊成

後古今春上 千ととふとふしつは水尻浦清のよしとて山の峰はの 太上天皇

新千載恋三 千ひあゆ浦清のよしとて運やとつれりよりのちふは 権田言明

同難下 千をこし又きの煙はとふをこんう清のよしとてか 前文正鎮

新拾遺雜上 千ととふとふしつは水尻浦清のよしとてか 平高宗

後後撰雜上 千をこし又きの煙はとふをこんう清のよしとてか 石見

浦初清 紀伊 紀伊

新法古今冬 紀の海や沖は清のよしとて常のよき浦の初清 大絶言重元

宇和郡 伊予 伊予

王業旅 伊予國の郡はとて我々をいふれせとて 世言明神の

漆河 筑前 伊予

拾遺雜下 千ととふとふしつは水尻浦清のよしとてか 伊人不知

宇佐宮 豊前 宇佐郡

新法古今春 紀の海や沖は清のよしとて常のよき浦の初清 伊人不知

宇田岡清 未勤

千載恋 井の中川里玉川 玉水 山城

古本春下 蟻あての山吹花のよしとて花の山より小をよましめを 伊人不知

後撰恋三 千ととふとふしつは水尻浦清のよしとてか 忠房朝臣

拾遺春 千ととふとふしつは水尻浦清のよしとてか 源順

同 千ととふとふしつは水尻浦清のよしとてか 惠慶法師

後拾遺秋下 千ととふとふしつは水尻浦清のよしとてか 若原伊家

同 千ととふとふしつは水尻浦清のよしとてか 良運法師

同難 千ととふとふしつは水尻浦清のよしとてか 和長太部

金葉春 千ととふとふしつは水尻浦清のよしとてか 攝政大臣

千載春下 千ととふとふしつは水尻浦清のよしとてか 前中納言房

同 千ととふとふしつは水尻浦清のよしとてか 藤原基俊

同 千ととふとふしつは水尻浦清のよしとてか 二条太皇太后

同 千ととふとふしつは水尻浦清のよしとてか 后宮肥後

同 千ととふとふしつは水尻浦清のよしとてか 若原定経



同夏

新拾遺春下

同

同

同

同雜上

新拾遺春下

同

同雜春

新拾遺春下

同夏

拾遺神書

後拾遺春

同亦

同亦

同亦

同亦

同亦

同亦

同亦

同亦

同亦

同亦

同亦

同亦

同亦

同亦

同亦

同亦

同亦

同亦

同亦

同亦

同亦

同亦

同亦

山あろのふく入下草承日ふ法あとおぬあうこのふ

らふぬあにひてをみあたのふあうふじおての山吹

あふあおての下草あふあひて山吹の花をうてむ

ふのふあおてのふ川を流してあふあふあふあふ

あふあおてのふ川を流してあふあふあふあふ

あふあおてのふ川を流してあふあふあふあふ

あふあおてのふ川を流してあふあふあふあふ

あふあおてのふ川を流してあふあふあふあふ

あふあおてのふ川を流してあふあふあふあふ

あふあおてのふ川を流してあふあふあふあふ

あふあおてのふ川を流してあふあふあふあふ

あふあおてのふ川を流してあふあふあふあふ

あふあおてのふ川を流してあふあふあふあふ

あふあおてのふ川を流してあふあふあふあふ

あふあおてのふ川を流してあふあふあふあふ

あふあおてのふ川を流してあふあふあふあふ

あふあおてのふ川を流してあふあふあふあふ

あふあおてのふ川を流してあふあふあふあふ

あふあおてのふ川を流してあふあふあふあふ

あふあおてのふ川を流してあふあふあふあふ

あふあおてのふ川を流してあふあふあふあふ

あふあおてのふ川を流してあふあふあふあふ

あふあおてのふ川を流してあふあふあふあふ

あふあおてのふ川を流してあふあふあふあふ

あふあおてのふ川を流してあふあふあふあふ

あふあおてのふ川を流してあふあふあふあふ

あふあおてのふ川を流してあふあふあふあふ

あふあおてのふ川を流してあふあふあふあふ

あふあおてのふ川を流してあふあふあふあふ

あふあおてのふ川を流してあふあふあふあふ

あふあおてのふ川を流してあふあふあふあふ

あふあおてのふ川を流してあふあふあふあふ

あふあおてのふ川を流してあふあふあふあふ

あふあおてのふ川を流してあふあふあふあふ

あふあおてのふ川を流してあふあふあふあふ

あふあおてのふ川を流してあふあふあふあふ

親部行親

常盤寺

前政大臣

津守国

俊成

左京長能

前納言

小野小町

山光院入道

前納言

平重基

道贈

親王

赤坂雅経

伊人不知

右原信房

僧都長頼

左原信朝

左原隆信

後人不知

道前政政

右原隆祐

前納言

左原延仲

昭慶門院

前納言

前納言

彈正手

後花園院

後花園院

後花園院

後花園院

後花園院

後花園院

後花園院

後花園院

同冬

同旅

同

同

同秋

同冬

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

初冬より初春にかけての雪の降りしきり

るは雪の降りしきり

雪の降りしきり

雪の降りしきり

雪の降りしきり

雪の降りしきり

雪の降りしきり

雪の降りしきり

雪の降りしきり

雪の降りしきり

雪の降りしきり

雪の降りしきり

雪の降りしきり

雪の降りしきり

雪の降りしきり

雪の降りしきり

雪の降りしきり

雪の降りしきり

雪の降りしきり

雪の降りしきり

雪の降りしきり

雪の降りしきり

雪の降りしきり

雪の降りしきり

雪の降りしきり

雪の降りしきり

雪の降りしきり

雪の降りしきり

雪の降りしきり

雪の降りしきり

雪の降りしきり

雪の降りしきり

雪の降りしきり

雪の降りしきり

俊成

道成法師

左原雅頭

俊成女

源雅光

前奉議行

法下定為

養徳院贈

左大臣

道命法師

山城

野文

野文

野文

野文

野文

野文

野文

野文

野文

野文

野文

野文

野文

野文

野文

野文

野文

野文

野文

野文

野文

野文

野文

同冬

同旅

同

同

同秋

同冬

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

初冬より初春にかけての雪の降りしきり

るは雪の降りしきり

雪の降りしきり

雪の降りしきり

雪の降りしきり

雪の降りしきり

雪の降りしきり

雪の降りしきり

雪の降りしきり

雪の降りしきり

雪の降りしきり

雪の降りしきり

雪の降りしきり

雪の降りしきり

雪の降りしきり

雪の降りしきり

雪の降りしきり

雪の降りしきり

雪の降りしきり

雪の降りしきり

雪の降りしきり

雪の降りしきり

雪の降りしきり

雪の降りしきり

雪の降りしきり

雪の降りしきり

雪の降りしきり

雪の降りしきり

雪の降りしきり

雪の降りしきり

雪の降りしきり

雪の降りしきり

雪の降りしきり

雪の降りしきり

俊成

道成法師

左原雅頭

俊成女

源雅光

前奉議行

法下定為

養徳院贈

左大臣

道命法師

山城

野文

野文

野文

野文

野文

野文

野文

野文

野文

野文

野文

野文

野文

野文

野文

野文

野文

野文

野文

野文

野文

野文

野文



後後撰秋上

後風はくしくるひくち若菜の葉鳴るははまきさけり

大徳寺有家

後古今集

波くる野鳴る清き油のきそおたたくまほしめり秋の秋

前大徳寺

後後撰秋上

し女子の云々夢乃とやふりては野鳴る清の秋乃々家

大徳寺

新後撰夏

むも川野鳴る清の夏若菜に人をとまらぬ家そらゆき

藤壁院

玉葉集

池沼の野鳴る清の秋は清風は清き油の油乃々家

後鳥羽院

後後撰遠旅

あやもちや野鳴る清の秋乃々家清き油の油乃々家

左京大夫孫備

凡雅冬

おるひく野鳴る清の秋乃々家清き油の油乃々家

中務卿

新後古今集

おるひく野鳴る清の秋乃々家清き油の油乃々家

親王

也上里

義濃

凡雅春上

あやもちや野鳴る清の秋乃々家清き油の油乃々家

後人不知

新拾遺恋三

あやもちや野鳴る清の秋乃々家清き油の油乃々家

為秀

新後撰冬

あやもちや野鳴る清の秋乃々家清き油の油乃々家

後小松院

後瀬山

若秋

後拾遺恋三

あやもちや野鳴る清の秋乃々家清き油の油乃々家

正三知家

新後撰冬

あやもちや野鳴る清の秋乃々家清き油の油乃々家

侍従

同恋三

あやもちや野鳴る清の秋乃々家清き油の油乃々家

後人不知

後千載恋五

あやもちや野鳴る清の秋乃々家清き油の油乃々家

後人不知

新拾遺恋四

あやもちや野鳴る清の秋乃々家清き油の油乃々家

坂大嬢

同恋三

あやもちや野鳴る清の秋乃々家清き油の油乃々家

家持

新後撰遠歌

あやもちや野鳴る清の秋乃々家清き油の油乃々家

寛深法師

野中清秋

幡磨 下南郡

古今雜上

あやもちや野鳴る清の秋乃々家清き油の油乃々家

後人不知

後撰恋三

あやもちや野鳴る清の秋乃々家清き油の油乃々家

後人不知

同恋四

あやもちや野鳴る清の秋乃々家清き油の油乃々家

同

詞花恋下

あやもちや野鳴る清の秋乃々家清き油の油乃々家

同

後後撰旅

あやもちや野鳴る清の秋乃々家清き油の油乃々家

西行法師

後古今雜

あやもちや野鳴る清の秋乃々家清き油の油乃々家

後鳥羽院

同雜下

あやもちや野鳴る清の秋乃々家清き油の油乃々家

俊成女

同

あやもちや野鳴る清の秋乃々家清き油の油乃々家

有原教雅

後拾遺夏

あやもちや野鳴る清の秋乃々家清き油の油乃々家

信実朝臣

後拾遺恋五

あやもちや野鳴る清の秋乃々家清き油の油乃々家

親王守覚

新後拾遺歌

下よきむもとの心をぬけ計中けは後なるみよきおぬれ

同雜上

ふじ人か又のやうなありぬとと中けは後なるみよきおぬれ

後千載恋

海うぬ人の誓うよむる中けは後なるみよきおぬれ

同旅

あうては中けは後なるみよきおぬれ

同雜下

古の歌中の清なるまよひもよひそそけぬけしける

月雅雜下

つふふては中けは清なるみよきおぬれ

新千載恋五

若みし中けは清なるみよきおぬれ

新拾遺恋四

水草の折し中けは清なるみよきおぬれ

同雜春

あまのよもくくそそけぬけ清なるみよきおぬれ

野鴻

淡路

友原為景

千載雜上

澄みたる水清なるみよきおぬれ

新拾遺歌

可き川もよみ清なるみよきおぬれ

野坂浦

肥後

長田王

後拾遺歌

あうたの坂の浦は舟にそそけぬけ清なるみよきおぬれ

大内山

山城

詞花春

九手よまをくそそけぬけ大内山の山くちあまのり

千載雜上

人よき大内山の山くちあまのり

新勅撰雜

あうまの九手よまをくそそけぬけ大内山の山くちあまのり

後夏冬

九手の大内山の山くちあまのり

同雜上

あうの大内山の山くちあまのり

後拾遺雜春

今まの九手よまをくそそけぬけ大内山の山くちあまのり

同

あうの大内山の山くちあまのり

同冬

あうの大内山の山くちあまのり

同賀

あうの大内山の山くちあまのり

新後古今賀

あうの大内山の山くちあまのり

同

あうの大内山の山くちあまのり

大井河

同

古今歌

あうの大井川の山くちあまのり

後撰雜三

あうの大井川の山くちあまのり

業平朝臣

拾遺秋

多くの紅葉流る大井川下くろくろ紅葉とやみん 忠岑

同雜工

大井川海への松よ事とらんる紅葉もはむしりしと 貫之

同恋一

大井川下を後乃と紅葉をみみ事ある人ともあはらるる 後人不知

後拾遺秋下

水よ紅葉あふりて大井川むらさきみゆりたけの白と 堀内若大臣

同

水もあふみくえりて大井川紅葉は紅葉と雨と少はた 中納言定頼

同冬

おらほはるる紅葉とらん大井川内をまじれもさるる也 前納言三任

後拾遺冬

大井はあふるるれを紅葉と嵐山のもみちとさるる 汗衣

同雜一

うの程のまきの紅葉も大井川内をまじれもみちとさるる 馬内侍

同雜四

年毎にせくもさるる大井川紅葉も紅葉とさるる也 源道俊

金葉夏

大井川いづくも舟のよぬんぬのふ成ぬるる大の秋 中納言雅宣

同秋

大井川紅葉はなり秋しよ者も紅葉もあふりてあはれ 大納言經信

同

大井川紅葉のまよあふりて紅葉とさるる後りしと 俊理美朝

同冬

大井川紅葉とさるるれを紅葉と嵐山のもみちとさるる 本臣長朝

同冬

大井川紅葉のまよあふりて紅葉とさるる後りしと 平致親

十載秋下

大井川紅葉のまよあふりて紅葉とさるる後りしと 俊恵法師

同雜中

大井川紅葉のまよあふりて紅葉とさるる後りしと 道圓法師

新古今夏

大井川紅葉のまよあふりて紅葉とさるる後りしと 俊成

同冬

後拾遺秋院時人の紅葉と大井川紅葉とさるる也 後原貞宗

同

後拾遺秋院時人の紅葉と大井川紅葉とさるる也 經信

同

後拾遺秋院時人の紅葉と大井川紅葉とさるる也 後原家經朝

同

後拾遺秋院時人の紅葉と大井川紅葉とさるる也 後原家經朝

同

後拾遺秋院時人の紅葉と大井川紅葉とさるる也 後原家經朝

同恋三

大井川紅葉のまよあふりて紅葉とさるる後りしと 後原家經朝

新勅撰冬

大井川紅葉のまよあふりて紅葉とさるる後りしと 後原家經朝

同

大井川紅葉のまよあふりて紅葉とさるる後りしと 後原家經朝

新勅撰賀

大井川紅葉のまよあふりて紅葉とさるる後りしと 後原家經朝

同

大井川紅葉のまよあふりて紅葉とさるる後りしと 後原家經朝

同恋三

大井川紅葉のまよあふりて紅葉とさるる後りしと 後原家經朝

同雜五

大井川紅葉のまよあふりて紅葉とさるる後りしと 後原家經朝

後後等々

大井川に流るる大井川に流るる大井川に流るる

坂上是則

同

大井川に流るる大井川に流るる大井川に流るる

定家

同

大井川に流るる大井川に流るる大井川に流るる

湘陰移政院

同賀

大井川に流るる大井川に流るる大井川に流るる

上田右大臣

後古今事

大井川に流るる大井川に流るる大井川に流るる

順徳院

同洋遠

大井川に流るる大井川に流るる大井川に流るる

光明寺入道前政三

同恋一

大井川に流るる大井川に流るる大井川に流るる

侯人不知

同雜中

大井川に流るる大井川に流るる大井川に流るる

中務

同賀

大井川に流るる大井川に流るる大井川に流るる

前中納言房

後拾遺冬

大井川に流るる大井川に流るる大井川に流るる

太上天皇

同

大井川に流るる大井川に流るる大井川に流るる

源具親

新後撰雜

大井川に流るる大井川に流るる大井川に流るる

法皇御制

同賀

大井川に流るる大井川に流るる大井川に流るる

入道前太政大臣

全葉夏

大井川に流るる大井川に流るる大井川に流るる

後成女

同

大井川に流るる大井川に流るる大井川に流るる

推中納言

同冬

大井川に流るる大井川に流るる大井川に流るる

常陸守入道

手葉冬

大井川に流るる大井川に流るる大井川に流るる

前大納言

後千載夏

大井川に流るる大井川に流るる大井川に流るる

中務卿

同

大井川に流るる大井川に流るる大井川に流るる

金道前太政大臣

同終下

大井川に流るる大井川に流るる大井川に流るる

贈三位

同

大井川に流るる大井川に流るる大井川に流るる

平惟貞

同

大井川に流るる大井川に流るる大井川に流るる

清原元棟

同

大井川に流るる大井川に流るる大井川に流るる

左大臣

後後拾遺夏

大井川に流るる大井川に流るる大井川に流るる

從三位

同秋下

大井川に流るる大井川に流るる大井川に流るる

前大納言

同冬

大井川に流るる大井川に流るる大井川に流るる

權大納言

同

大井川に流るる大井川に流るる大井川に流るる

白河院

同秋下

大井川に流るる大井川に流るる大井川に流るる

寂蓮法師

同

大井川に流るる大井川に流るる大井川に流るる

中務卿

同秋下

大井川に流るる大井川に流るる大井川に流るる

前大納言

同

大井川に流るる大井川に流るる大井川に流るる

權大納言

同冬

我宿の物もあつて解く大内川を記さるる守り本家の系記  
つぎに行水やまゝいん大内川をゆつおじのやまをいへて  
前内納言臣

同雜中

大内川をいへるふみあつ橋の上より人まじにぬのいふれ  
前内納言臣

同

大内川をいへるふみあつ橋の上より人まじにぬのいふれ  
前内納言臣

同秋上

大内川をいへるふみあつ橋の上より人まじにぬのいふれ  
前内納言臣

同

大内川をいへるふみあつ橋の上より人まじにぬのいふれ  
前内納言臣

新千載冬

大内川をいへるふみあつ橋の上より人まじにぬのいふれ  
前内納言臣

同夏

大内川をいへるふみあつ橋の上より人まじにぬのいふれ  
前内納言臣

同

大内川をいへるふみあつ橋の上より人まじにぬのいふれ  
前内納言臣

同秋下

大内川をいへるふみあつ橋の上より人まじにぬのいふれ  
前内納言臣

同

大内川をいへるふみあつ橋の上より人まじにぬのいふれ  
前内納言臣

同

大内川をいへるふみあつ橋の上より人まじにぬのいふれ  
前内納言臣

同

大内川をいへるふみあつ橋の上より人まじにぬのいふれ  
前内納言臣

同

大内川をいへるふみあつ橋の上より人まじにぬのいふれ  
前内納言臣

同

大内川をいへるふみあつ橋の上より人まじにぬのいふれ  
前内納言臣

同

大内川をいへるふみあつ橋の上より人まじにぬのいふれ  
前内納言臣

同

大内川をいへるふみあつ橋の上より人まじにぬのいふれ  
前内納言臣

同

大内川をいへるふみあつ橋の上より人まじにぬのいふれ  
前内納言臣

同

大内川をいへるふみあつ橋の上より人まじにぬのいふれ  
前内納言臣

同

大内川をいへるふみあつ橋の上より人まじにぬのいふれ  
前内納言臣

同 大井川おき元の所よまうりめらうて流るるにふらふらと  
民部卿宗遠

同恋 大井川おろす後乃らあられあつてつあまきりつらん  
後人不知

新撰古今夏 大井川おろすをらうきりつらん舟也ら  
後鏡院朝臣  
後理大夫朝臣

同冬 大井川おろすをらうきりつらん舟也ら  
武部卿親王

同賀 大井河久しきまきりつらん舟也ら  
大納言経信

古今秋下 大澤池 山城 高野郡  
友則

後拾遺雜二 大澤池 山城 高野郡  
俊成

新撰古今物言 大澤池 山城 高野郡  
業平朝臣

古今雜上 大澤池 山城 高野郡  
賢之

後撰賀 大澤池 山城 高野郡  
一茶撰政

拾遺恋 大澤池 山城 高野郡  
東三条太政大臣

同雜下知 大澤池 山城 高野郡  
清原元輔

後拾遺賀 大澤池 山城 高野郡  
中納言朝臣

新事雜 大澤池 山城 高野郡  
中納言朝臣

新勅撰賀 大澤池 山城 高野郡  
權大納言朝臣

後古今冬 大澤池 山城 高野郡  
周防内侍

同神杖 大澤池 山城 高野郡  
正三位基安

後千載春下 大澤池 山城 高野郡  
右大臣

後拾遺冬 大澤池 山城 高野郡  
山光院入道  
前納言朝臣  
右原方朝臣

良暹法師

世中みあやしと物と雨あれと大原川乃のあまらまの  
ありつて桂乃花やいもとあまらま大原山乃雲の村と  
ねとてやねもらうらん大原山乃雲の村とねとてやねも

くわらわらとて位とあやとひつくれん  
能定朝臣大原山乃雲の村とねとてやねも

同  
同誹諸  
詞在末下  
同雜

皆ひやれんべくをさひのくれ大原山の杖乃ゆふれ  
かき大原山のすもゝるふちひのそきてきてあふたりを  
ふらつてふんそへ人あやのひしゝのこいさやうれは  
大原やまのこいさるふちのこいさるふちを煙たて

五原国房  
後人不知  
若原相如  
良運法師

新古今  
同

同雑中

同返

新勅撰冬

後古今恋三

新後撰冬

同雜

五葉雜三

尺雅亦四

新十載雜中

同

新拾遺雜

新後撰冬

新後古今冬

同

同

同雜

同誹諸

新拾遺雜

同返

金葉亦三

後古今長傷

新後撰雜中

大原の

乃るそ道ふわる今あじくをもられ毎の白雲  
れ秋あふ雲きゆふら炭火の煙もさひ大原山と  
世にまじくさあはあもあへし大原山はゆるし  
やま事大原山の炭火の煙もさひ大原山と  
大原のいづれを根に道なれし書をけるそひも  
大原のいづれを根に道なれし書をけるそひも  
ゆふら炭火の煙もさひ大原山と  
大原のいづれを根に道なれし書をけるそひも  
ゆふら炭火の煙もさひ大原山と  
大原のいづれを根に道なれし書をけるそひも

寂法法師  
其内親王  
和泉式部  
少将井元  
西行  
田原天皇  
二条院  
後人不知  
寂然法師  
後人不知

腫法水

水多のしおひの法水を煎てふは月の新ころ  
種もてまほしき法水を煎てふは月の新ころ  
水多のしおひの法水を煎てふは月の新ころ  
種もてまほしき法水を煎てふは月の新ころ

腫法水  
集定方前書分城北大原有見

法不定方  
等持院  
後人不知  
前大納言  
氏部公明  
寺内院  
待從  
濱浦朝臣  
素意法師  
良運法師  
俊類

法馬お院隠れて大原のあまをさめしむる由をまねし

舟の腫れ法水ありて法水ありて法水ありて法水ありて  
大原のあまをさめしむる由をまねし

後德院  
後人不知

王業継

同雜三

後千載夏

後後拾遺夏

新千載恋三

同雜甲

同

人荒本 社

山城

古今雜上

後撰雜

同

後送夏

同雜春

後拾遺夏

新古今秋上

同恋

後千載夏

後千載恋三

新拾遺夏

同

男山

山城 久世郡

古今秋上

同雜上

後後撰神秋

同

後古今秋上

後撰神秋

同

同

同

後千載秋上

何と今曉のほみそはあつらひのせふとゆれ 前中納言雅具

独り心あつらひのほみそはあつらひのせふとゆれ 寂然法師

雲死あつらひのほみそはあつらひのせふとゆれ 津守国冬

八雲むらさきあつらひのほみそはあつらひのせふとゆれ 前中納言房

秋の心あつらひのほみそはあつらひのせふとゆれ 後頼

秋の心あつらひのほみそはあつらひのせふとゆれ 法下定為

秋の心あつらひのほみそはあつらひのせふとゆれ 寂然法師

人荒本 社 山城 後人不知

人荒本 社 山城 忠峯

人荒本 社 山城 忠峯

人荒本 社 山城 忠峯

人荒本 社 山城 忠峯

人荒本 社 山城 忠峯

人荒本 社 山城 忠峯

人荒本 社 山城 忠峯

人荒本 社 山城 忠峯

人荒本 社 山城 忠峯

人荒本 社 山城 忠峯

人荒本 社 山城 忠峯

人荒本 社 山城 忠峯

人荒本 社 山城 忠峯

人荒本 社 山城 忠峯

人荒本 社 山城 忠峯

人荒本 社 山城 忠峯

人荒本 社 山城 忠峯

人荒本 社 山城 忠峯

人荒本 社 山城 忠峯

人荒本 社 山城 忠峯

人荒本 社 山城 忠峯

人荒本 社 山城 忠峯

人荒本 社 山城 忠峯

人荒本 社 山城 忠峯

人荒本 社 山城 忠峯



新拾遺神代の万葉集に記されたる男山埋と云ふは前中納言有  
新後拾遺神代を記す人らも男山埋と云ふ事あると云ふ事  
同賀 山今と古世乃始と云ふ事も云ふ事ありしは 權大臣  
大和 吉野郡 權大臣

大河造

大和 吉野郡

古今悉四 吉野乃大河の公女波のあまのあまのこむらさきやハ 法入不知  
新古今春上 吉野乃大河乃古柳のあまのあまのこむらさきやハ 輔仁親王  
新古今冬 吉野乃大河乃古柳のあまのあまのこむらさきやハ 僧正行玄

大嶋岑

同

新古今悉四 大嶋岑のあまのあまのこむらさきやハ 天知天皇  
大嶋 同

大嶋岑

金葉雜上 大嶋岑のあまのあまのこむらさきやハ 僧正行玄

同 大嶋岑のあまのあまのこむらさきやハ 僧正行玄

後古今旅 大嶋岑のあまのあまのこむらさきやハ 僧正行玄

同賀 大嶋岑のあまのあまのこむらさきやハ 僧正行意

後拾遺旅 大嶋岑のあまのあまのこむらさきやハ 法入良室

兼冬 大嶋岑のあまのあまのこむらさきやハ 前權僧正 藤

後拾遺雜 大嶋岑のあまのあまのこむらさきやハ 大僧正行玄

月雜 大嶋岑のあまのあまのこむらさきやハ 前僧正道祐

新古今載 大嶋岑のあまのあまのこむらさきやハ 高法親王 助

新拾遺雜中 今も我らうきまの取もくを後叙して三つをみち 前巻正目

興津濱

和泉 和泉郡

古今雜上 志保の具つのはよむくは海にぬくまをみ 志房  
新古今後 事とくまひのむくは千鳥をくくゆ 定家

大江岸

揚津 西生郡

扶拾遺 わののや大江の岸をま有運てまのふみゆ 良運法師

御前沖

同 武庫郡

千載雜上 くらくとくまの沖とく波とくまをみ 若島頼

大江 浦濱

伊勢

拾遺雜中 大いこののち後つてくまをみゆ 源兼光

新古今後 大波のち後つてくまをみゆ 後人不知

同雜中 大いこのの浦とく波とくまをみ 女家女家

同雜下 大いこの浦とく波とくまをみ 定家

瓜雜前 大いこの浦とく波とくまをみ 後頼朝臣

新千載後 大いこの浦とく波とくまをみ 前巻正目

古今太政官 伊勢の浦とく波とくまをみ 伊勢

伊勢乃の浦とく波とくまをみ

拾遺雜上 伊勢の浦とく波とくまをみ 人誓

新古今後 伊勢の浦とく波とくまをみ 待賢院

同夏 伊勢の浦とく波とくまをみ 官内

同雜上 伊勢の浦とく波とくまをみ 俊頼

新勅撰恋 伊勢の浦とく波とくまをみ 播磨言旅

同恋四 伊勢の浦とく波とくまをみ 後人不知

後後撰恋 伊勢の浦とく波とくまをみ 基俊

同雜上 伊勢の浦とく波とくまをみ 前巻正目

扶拾遺雜上 伊勢の浦とく波とくまをみ 山内道

新撰撰恋 伊勢の浦とく波とくまをみ 常陸言旅

玉葉秋上 伊勢の浦とく波とくまをみ 後原義長

同恋三 伊勢の浦とく波とくまをみ 後原義長

扶千載後 伊勢の浦とく波とくまをみ 後原義長

修後拾遺集 新古今集 新古今集 新古今集

新古今集 新古今集 新古今集 新古今集

同古今 同古今 同古今 同古今

同古今 同古今 同古今 同古今

鳥咩浦 鳥咩浦 鳥咩浦 鳥咩浦

持統天皇 持統天皇 持統天皇 持統天皇

大浦 大浦 大浦 大浦

大浦 大浦 大浦 大浦

大浦 大浦 大浦 大浦

大浦 大浦 大浦 大浦

大浦 大浦 大浦 大浦

大浦 大浦 大浦 大浦

大浦 大浦 大浦 大浦

大浦 大浦 大浦 大浦

大浦 大浦 大浦 大浦

大浦 大浦 大浦 大浦

大浦 大浦 大浦 大浦

大浦 大浦 大浦 大浦

大浦 大浦 大浦 大浦

大浦 大浦 大浦 大浦

大浦 大浦 大浦 大浦

大浦 大浦 大浦 大浦

大浦 大浦 大浦 大浦

大浦 大浦 大浦 大浦

大浦 大浦 大浦 大浦

大浦 大浦 大浦 大浦

大浦 大浦 大浦 大浦

大浦 大浦 大浦 大浦

大浦 大浦 大浦 大浦

大浦 大浦 大浦 大浦

大浦 大浦 大浦 大浦

大浦 大浦 大浦 大浦

大浦 大浦 大浦 大浦

新勅撰雜

こころ不我分可面よりつとむるは社の事なりて

源泰光朝臣

後撰撰夏

つとつとむるをわたりて祝ふたむるのいねるを

信阿法師

同雜中

年とて歎くものいねるも此れ我れむもの社なる

基俊

後古今冬

油のすむるは社の時面よりたふりてははる

左原光俊

後拾遺雜秋

ふりあむるもむるは社の時面よりたふりてははる

前中納言預

同

ようあのもむるは社の時面よりたふりてははる

後人不知

同雜中

とふるは油をぬるもむるは社の時面よりたふりてははる

道山法師

新撰撰雜上

ふり返しねるは油をぬるもむるは社の時面よりたふりてははる

源兼泰

玉葉雜一

我ももむるは社の時面よりたふりてははる

前大橋三良

同

我ももむるは社の時面よりたふりてははる

前納言俊定

後撰撰雜上

我ももむるは社の時面よりたふりてははる

前大納言俊光

凡雅冬

我ももむるは社の時面よりたふりてははる

平氏村

新撰撰夏

我ももむるは社の時面よりたふりてははる

為家

新撰古今雜下附

我ももむるは社の時面よりたふりてははる

二品法親王朝

後撰撰雜上

我ももむるは社の時面よりたふりてははる

三郎大納言

新撰撰夏

我ももむるは社の時面よりたふりてははる

定家

新撰撰夏

我ももむるは社の時面よりたふりてははる

順徳院

後撰撰雜上

我ももむるは社の時面よりたふりてははる

常陸守兼通

同

我ももむるは社の時面よりたふりてははる

前大納言

新撰撰夏

我ももむるは社の時面よりたふりてははる

後鳥羽院

同

我ももむるは社の時面よりたふりてははる

左大臣

後撰撰雜上

我ももむるは社の時面よりたふりてははる

後人不知

後撰撰雜上

我ももむるは社の時面よりたふりてははる

相模

古今撰

我ももむるは社の時面よりたふりてははる

小野小町

金葉雜上

新古今秋上

同賀

新勅撰秋下

勅撰送旅

新撰送旅

勅撰夏

新勅撰秋三

後撰卷一

同恋四

新撰秋下

後撰卷中

大江山の道にまゝにゆくはよき事なりけり

大江山の道にまゝにゆくはよき事なりけり

大江山の道にまゝにゆくはよき事なりけり

大江山の道にまゝにゆくはよき事なりけり

大江山の道にまゝにゆくはよき事なりけり

大江山の道にまゝにゆくはよき事なりけり

大江山の道にまゝにゆくはよき事なりけり

大江山の道にまゝにゆくはよき事なりけり

大江山の道にまゝにゆくはよき事なりけり

大江山の道にまゝにゆくはよき事なりけり

大江山の道にまゝにゆくはよき事なりけり

大江山の道にまゝにゆくはよき事なりけり

思河

備前

後撰卷一

新勅撰恋

同

後撰撰春下

同恋一

後撰卷上

同恋二

同恋三

同恋上

後撰撰春中

同恋二

同恋三

同

同

大江山の道にまゝにゆくはよき事なりけり

大江山の道にまゝにゆくはよき事なりけり

大江山の道にまゝにゆくはよき事なりけり

大江山の道にまゝにゆくはよき事なりけり

大江山の道にまゝにゆくはよき事なりけり

大江山の道にまゝにゆくはよき事なりけり

大江山の道にまゝにゆくはよき事なりけり

大江山の道にまゝにゆくはよき事なりけり

大江山の道にまゝにゆくはよき事なりけり

大江山の道にまゝにゆくはよき事なりけり

大江山の道にまゝにゆくはよき事なりけり

大江山の道にまゝにゆくはよき事なりけり

大江山の道にまゝにゆくはよき事なりけり

大江山の道にまゝにゆくはよき事なりけり

〇三十七

小式部内侍

慈円

刑部卿兼

權中納言

義詮

前左衛門

定

備前守

政大

大江朝相

忠孝法師

三位知家

伊勢

皇太后院別

侍從具定

家隆

前納言

道長

深壁門

式部卿

春原

常盤

太政大臣

前左衛門

前左衛門

前左衛門

前左衛門

前左衛門

前左衛門

同

同志四

後拾遺恋

同

同

後拾遺恋

同

同志四

同

新拾遺恋

同

新拾遺恋

同志四

同

ふさぎのしほはさき思ひ川にさらばはきりあめん

ふ川あまのふふらうてふふふふこの園とるふん

思川あまのふふふふふふふふふふふふふふふ

ふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふ

ふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふ

ふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふ

ふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふ

ふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふ

ふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふ

ふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふ

ふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふ

ふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふ

ふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふ

ふふふふふふふふふふふふふふふふふふふふ

藤原内親王

法華行家

法華行家

法華行家

法華行家

法華行家

法華行家

法華行家

法華行家

法華行家

法華行家

法華行家

法華行家

法華行家

法華行家

法華行家

法華行家

法華行家

法華行家

法華行家

法華行家

法華行家

法華行家

法華行家

法華行家

法華行家

法華行家

法華行家

法華行家

十載旅

鞍馬山

山城

愛宕郡

平康

後撰恋

同類

拾遺雜春

後拾遺雜

五葉集

晴部山

同

古今春上

同秋上

同秋下

同志二

後撰秋中

同志四

全葉恋下

後撰夏上

梅の花をよみてよみてよみてよみてよみてよみてよみて

秋のよみよみよみよみよみよみよみよみよみよみよみ

秋のよみよみよみよみよみよみよみよみよみよみよみ

秋のよみよみよみよみよみよみよみよみよみよみよみ

秋のよみよみよみよみよみよみよみよみよみよみよみ

秋のよみよみよみよみよみよみよみよみよみよみよみ

秋のよみよみよみよみよみよみよみよみよみよみよみ

秋のよみよみよみよみよみよみよみよみよみよみよみ

秋のよみよみよみよみよみよみよみよみよみよみよみ

秋のよみよみよみよみよみよみよみよみよみよみよみ

秋のよみよみよみよみよみよみよみよみよみよみよみ

秋のよみよみよみよみよみよみよみよみよみよみよみ

同  
同物  
風雅春上

宿のしらべんやしらんか...  
梅あり白お...  
やまのまゝか...  
かまふ...  
よき...  
權中納言  
四光院  
國百大臣  
中務

新抄遠尺敷  
新抄遠春上

りう...  
い...  
云林  
山城  
和泉式部  
崇徳院

古春下

あ...  
云林院...  
山城  
肥後  
備前

後撰抄

木下...  
か...  
備前  
備前  
備前

新古ノ尺敷  
新撰遠春下

あ...  
か...  
源道成

源道成

あ...  
あ...  
和泉式部

新撰遠春上

久遠部

山城

新撰撰下

み...  
山城  
備前

新撰遠春上

あ...  
山城  
備前

新撰古ノ華  
白旗の...  
山城  
備前

西木橋小町

山城

拾遺物名

あ...  
山城  
備前

後古今春上 又後をいふ如橋へくちるまひりら歌をいふ、秋乃橋系 権忠言長  
後古今秋上 又秋の粟栖小舟此橋のたらむ河の舟はては舟は 大納言長入  
新古今秋上 片糸のつらふれをのつ一筋又あつてさややあひ後言人 兼盛  
新古今秋上 又あつてさややあひ後言人 兼盛  
新古今秋上 又あつてさややあひ後言人 兼盛

棕橋山

大和 城上郡 十市一

権忠言長

新古今秋上 又あつてさややあひ後言人 兼盛

久米路橋

同

大納言師頼

後古今秋上 又あつてさややあひ後言人 兼盛

同古今 又あつてさややあひ後言人 兼盛

同古今 又あつてさややあひ後言人 兼盛

同古今 又あつてさややあひ後言人 兼盛

同古今 又あつてさややあひ後言人 兼盛

同古今 又あつてさややあひ後言人 兼盛

同古今 又あつてさややあひ後言人 兼盛

同古今 又あつてさややあひ後言人 兼盛

同古今 又あつてさややあひ後言人 兼盛

同古今 又あつてさややあひ後言人 兼盛

同古今 又あつてさややあひ後言人 兼盛

同古今 又あつてさややあひ後言人 兼盛

同古今 又あつてさややあひ後言人 兼盛

同古今 又あつてさややあひ後言人 兼盛

同古今 又あつてさややあひ後言人 兼盛

同古今 又あつてさややあひ後言人 兼盛

同古今 又あつてさややあひ後言人 兼盛

同古今 又あつてさややあひ後言人 兼盛

同古今 又あつてさややあひ後言人 兼盛

同古今 又あつてさややあひ後言人 兼盛

同古今 又あつてさややあひ後言人 兼盛

同古今 又あつてさややあひ後言人 兼盛

同古今 又あつてさややあひ後言人 兼盛

同古今 又あつてさややあひ後言人 兼盛

同古今 又あつてさややあひ後言人 兼盛

同古今 又あつてさややあひ後言人 兼盛

同古今 又あつてさややあひ後言人 兼盛

同古今 又あつてさややあひ後言人 兼盛

同古今 又あつてさややあひ後言人 兼盛

同古今 又あつてさややあひ後言人 兼盛

草香山

攝津

国自美臣

河内 一説大和

春議長

法人不知

小侍従

安方相臣

後山院大

右原鳥重

後山院大

津守国道

源兼成

冷泉院大

臣

西園寺公

實方

大納言師

頼

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同



侯古今

黒戸濱

上総

誤人不加

玉葉

暗部里

江 甲賀郡

管原彦標

玉葉

朽木

同 同

前納言亮

金葉

新古今

藤原光仲

新勅撰

同 同

俊頼

同 同

新撰

鎌倉右大臣

新撰

同 同

後江成実

金葉

佐山

丸

本臣能宣

同 同

佐山

元補

同 同

佐山

藤原光仲

新撰

佐山

上門内大臣

同 同

佐山

中務親王

新撰

佐山

若水隆祐

同 同

佐山

三条入道左大臣

同 同

佐山

前大納言教良

同 同

佐山

後深草院

同 同

佐山

信長朝臣

同 同

佐山

前奉議

同 同

佐山

從二位顯茂

同 同

佐山

前奉議

同 同

佐山

前奉議

後千載實

同

同

後千載上

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

我々の位は山しものくはしめあめ人しあはしりて

あはしりてあはせしむる位は山しめあめ人しあはしりて

あはしりてあはせしむる位は山しめあめ人しあはしりて

あはしりてあはせしむる位は山しめあめ人しあはしりて

あはしりてあはせしむる位は山しめあめ人しあはしりて

あはしりてあはせしむる位は山しめあめ人しあはしりて

あはしりてあはせしむる位は山しめあめ人しあはしりて

あはしりてあはせしむる位は山しめあめ人しあはしりて

あはしりてあはせしむる位は山しめあめ人しあはしりて

あはしりてあはせしむる位は山しめあめ人しあはしりて

あはしりてあはせしむる位は山しめあめ人しあはしりて

あはしりてあはせしむる位は山しめあめ人しあはしりて

あはしりてあはせしむる位は山しめあめ人しあはしりて

あはしりてあはせしむる位は山しめあめ人しあはしりて

あはしりてあはせしむる位は山しめあめ人しあはしりて

あはしりてあはせしむる位は山しめあめ人しあはしりて

あはしりてあはせしむる位は山しめあめ人しあはしりて

あはしりてあはせしむる位は山しめあめ人しあはしりて

あはしりてあはせしむる位は山しめあめ人しあはしりて

あはしりてあはせしむる位は山しめあめ人しあはしりて

あはしりてあはせしむる位は山しめあめ人しあはしりて

あはしりてあはせしむる位は山しめあめ人しあはしりて

あはしりてあはせしむる位は山しめあめ人しあはしりて

あはしりてあはせしむる位は山しめあめ人しあはしりて

あはしりてあはせしむる位は山しめあめ人しあはしりて

あはしりてあはせしむる位は山しめあめ人しあはしりて

あはしりてあはせしむる位は山しめあめ人しあはしりて

あはしりてあはせしむる位は山しめあめ人しあはしりて

あはしりてあはせしむる位は山しめあめ人しあはしりて

法性寺入道前

女蔵人万代

中臣公親

權中納言大朝

前大納言宗

清神朝臣

右大臣隆信

從三位為根

友原秀經

前大納言宗

民部為定

源基氏經

權中納言經

前大納言隆

為根

前中納言

左大臣義

按察使源明

前大納言度

右大臣為邦

前納言左大臣

近臣

友原高範

前中納言雅

前大納言定

前大納言為

定

光政村

前大僧正

前大納言

從二位有世

新千載上

三十七

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

久米路橋

信濃 大和有同名

送難

地の中出... 漢人不知

黒髪山

しよ... 人唐

新後拾遺冬... 從三位賴政

朽木橋

わ... 若未調定

黒塚

陸奥のわ... 兼盛

中田村

平治元年... 丹波

倉橋河

信三の倉橋... 後鳥羽院

久米佐良山

古... 義作 久米郡

黒上山

久... 從二位行家

能野

久... 紀伊 年表郡

拾遺

同志

後拾遺

金葉

詞元

千載

娘... 権中總言 房

同

新

同

あ... 安法法師

同林檎

同

新吉平襦

新初撰雜巾

同

後撰撰春上

同恋五

後古今冬

同林檎

同

後撰撰神袷

同恋三

手兼林檎

同

同林檎

同

同

同

後撰撰神袷

同雜巾

風雅雜下

同林檎

同

目推林檎

同

新撰送書

同林檎

白川院然野中下男  
今乃川下徳寺左大臣  
同

白川院然野中下男  
今乃川下徳寺左大臣  
同

今乃川下徳寺左大臣  
同

今乃川下徳寺左大臣  
同

今乃川下徳寺左大臣  
同

今乃川下徳寺左大臣  
同

今乃川下徳寺左大臣  
同

今乃川下徳寺左大臣  
同

今乃川下徳寺左大臣  
同

今乃川下徳寺左大臣  
同

今乃川下徳寺左大臣  
同

今乃川下徳寺左大臣  
同

今乃川下徳寺左大臣  
同

今乃川下徳寺左大臣  
同

今乃川下徳寺左大臣  
同

今乃川下徳寺左大臣  
同

今乃川下徳寺左大臣  
同

今乃川下徳寺左大臣  
同

今乃川下徳寺左大臣  
同

今乃川下徳寺左大臣  
同

今乃川下徳寺左大臣  
同

今乃川下徳寺左大臣  
同

今乃川下徳寺左大臣  
同

今乃川下徳寺左大臣  
同

今乃川下徳寺左大臣  
同

今乃川下徳寺左大臣  
同

今乃川下徳寺左大臣  
同

今乃川下徳寺左大臣  
同

今乃川下徳寺左大臣  
同

今乃川下徳寺左大臣  
同

今乃川下徳寺左大臣  
同

今乃川下徳寺左大臣  
同

今乃川下徳寺左大臣  
同

今乃川下徳寺左大臣  
同

新撰送書

源有長

徳寺左大臣

中下男

徳寺左大臣

徳寺左大臣

徳寺左大臣

徳寺左大臣

徳寺左大臣

徳寺左大臣

徳寺左大臣

徳寺左大臣

徳寺左大臣

徳寺左大臣

徳寺左大臣

徳寺左大臣

徳寺左大臣

徳寺左大臣

徳寺左大臣

徳寺左大臣

徳寺左大臣

徳寺左大臣

徳寺左大臣

徳寺左大臣

徳寺左大臣

徳寺左大臣

徳寺左大臣

徳寺左大臣

徳寺左大臣

徳寺左大臣

徳寺左大臣

徳寺左大臣

徳寺左大臣

徳寺左大臣

徳寺左大臣

徳寺左大臣

徳寺左大臣

新撰古今  
同本紙

新撰古今

三十五終

新撰古今の浦乃波ゆい根てもつきたるはくわうし歌 洞院揚政臣  
若の浦まよひも果んて此の浦の思ふあはれ世に 法下宗助  
さくは通とてて無き心もさう終るあはれとて 前本僧正喻

草香江

瓶前

あまの浦の入りはるのいふれはるるもや独りん 前右大臣忠  
あまの浦の入りはるのいふれはるるもや独りん 法皇御歌  
あまの浦の入りはるのいふれはるるもや独りん 大納言信

倉を演

豊前

いづれもみよあつとゆりて後し思ふとてあつらん金

五八溪 人唐

新撰古今和歌集廿四終

